

一般社団法人日本ヒューマンヘルスケア学会

## 第 6 回学術集会のご案内

開催日：2023年9月23日（土）9：20-16：00

会場：岐阜保健大学看護学部 キャンパス・ハイブリット形式

テーマ：命と向き合うヒューマンヘルスケアの SDGs

大会長：内藤直子（岐阜保健大学大学院教授・香川大学名誉教授）

### ごあいさつ

いつの時代も人は人の命と向き合い、人々の生活に寄り添い支援を続けています。医療の現場では新型コロナウイルス感染拡大で限りないご尽力をされていることに心から敬意を表し感謝申し上げます。

地域におきましても複雑で多様な健康問題の課題やニーズに向き合い多様な学問領域の人々が情報

交換しながら、協働してヒューマンヘルスケアに向かった実践をされていることと拝察します。そこで今回は、異なる学問分野の持つ力を、命と向き合うヒューマンヘルスケアの視点からこれまでの支援の基本的な考え方や、医療の実践、教育、研究などの報告と更なる模索の場として学術集会を開催できればと考えます。

今回のテーマは「命と向き合うヒューマンヘルスケアの SDGs」です。この Sustainable



Development Goals「持続可能な開発目標」であり、国連が決めた世界の目標 17 という  
と、自分たちとは遠い感じがするかもしれませんが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で学校が休校になることや実習が学内になるのも SDGs 目標 4 の質の高い教育をみんなにつながります。育児休暇の男女比較研究は SDGs5 のジェンダー平等につながるでしょう。感染対策として手洗いが日常的課題となり手のケアへの関心の高まりは SDGs 目標 3 の健康と福祉につながります。

このように、SDGs と私たちの毎日の生活は強く結びついています。「持続可能」とは、将来の世代のための地球環境や資源が守られ、今の状態が持続できることです。また、「開発」とは、すべての人が安心して、自分の能力を十分に発揮しながら満足して暮らすことです。少し大きな課題ですが、研究や実践を深めておられる素晴らしい講師の皆さまをお招きして、実りある一日になることを期待して企画いたしました。

新型コロナウイルスは5月より5類へと変更されることで、ほっとしております。

そこで、多くの会員の皆様、これから会員になりたいと思われる皆様が、意見交換ができ今後さらに、人々の命と健康、生活の質的向上のために持続可能な実践に寄与できる学術集会をめざしたいと思います。

どうぞ、多くの皆様のご参加を、お待ち申し上げます。

令和5年3月吉日

内 藤 直 子